

こ水木國際労働会議の正体なのである。

國際労働会議で一国の資本家、政府、労働代表を併合して、他國の労働條件の劣悪なことを攻撃する場がある。そして所謂劣悪労働條件の國の労働代表はこれを有難うなものである。こゝでは労働協約の國際的團結等と云ふ精神は、棄にたくすまい。

階級協約！ 或國の労働代表十二國の政府、資本家、労働代表！そしてその結果はついに何等の部分的利益すら獲得せぬ！

斯くて各國ブルジョアはこの會議を棄て有効に利用しつゝあるのである。

この會議への代表選出は、公正な選挙法に依り、と云つて見たところでは、結局それは何物をもたらさぬばかりでなく、積極的な障礙となる。

若しこの會議そのものは否認するが、選挙を一般投票に依り、と云ふなら、一体何の必要及中間團體との共同戦線に利用するため——彼等は代表選出論者である——選挙権を行使せよ、との意見があるが、大衆が切実に代表派遣を要求して居らぬにも拘らず、單に幹部間の共同戦線のために、大衆への積極的働きかけを放棄した共同戦線は、無意義であるのみならず、返つて有害なのである。ために、何を目的で代表を選出せよならぬかを、大衆は疑ふであらう。

斯かゝる欺瞞機關へして、尚ほ及が参加せなければならぬのは、大衆がこの會議に非常に信頼を持つて居り、これをブルジョアの欺瞞機關だと宣傳して承認せぬ場合に限る。然るも時、欺瞞の會議に対する要求も代表も、會議そのものが、斯かゝる要求を容れ得る性質のものでないことを率次に依つて知らさなければならぬ。然し其のほゞなことをする必要はない。

何れにせよぬ會議へフカ／＼暇つぶしに行く陣前も亦ならず、労働條件改善の闘争を予備せしと云ふ方がより有効である。

凡ゆる機會を利用するに云ふことは、原則を放棄しての利用であつてはならぬ。

大衆を動員するのはよい。然し何ぞマサ／＼原則を放棄してまで大衆を動員しなくとも、外に集らでても機會はある。

國際労働會議はブルジョアの欺瞞機關だと云つたのみでは不十分である。

それは國際的欺瞞機關である。

幾層階級も勝利を獲得せんがためには、國際的團結が必要である。

今の世界戦争も可能ならしめ、而してこの資本主義の國際的危機を、プロレタリアの勝利へ導く